

新たなトレンドに?! ビジネス+レジャー 「ブレジャー」

「マイクロツーリズム」、「ワーケーション」、「オンラインツアー」など、コロナ前には耳馴染みのなかった観光のキーワード。コロナ禍では新たな旅行スタイルが生み出される契機にもなっていますが、その中で「ブレジャー」というワードを耳にしたことがあるでしょうか。

「ブレジャー」とは、ビジネスパーソンが出張に休暇を合わせて現地で観光や旅行をする「ビジネス+レジャー」の造語。海外ではよく知られる休暇のスタイルだが、日本では浸透しているとは言い難い。

世界的大手企業から中小企業まで、ものづくり企業が地域経済を支える愛知県は、特に全国各地からの出張客も多い。そこで目を付けたのが、東海道新幹線のスマートEX・エクスプレス予約で来県する方へのアプローチです。スマートEX・エクスプレス予約で、「愛知県内（豊橋～名古屋）の駅着」の利用券を提示した方限定で受けられる、徳川美術館など沿線の人気観光施設の入場料割引特典。

また、「名古屋着」の利用券を提示した方だけが購入できる「愛知満喫パス」。愛知が生んだ三英傑ゆかりのスポットを巡る「愛知三英傑満喫パス」と、名古屋市内の定番スポットを巡る「名古屋満喫パス」の2種類が選べ、1600円でパスを購入すれば、2日間、対象施設を自由に巡れる。例えば、金曜日が出張1日目。夕方に仕事が終われば、その足で名古屋城を見学し、夜はナゴヤメシを堪能し宿泊。翌日の土曜日は休暇。犬山城や岡崎城、大樹寺などで観光して帰宅。ビジネス出張に観光・レジャーを合わせることで、お得に体験可能となる。

感染状況によっては他県移動が禁止になったり、オンラインミーティングに切り替えられたり、コロナ禍では出張への風当たりは強い。ただ、仕事はそこそこに、知らない土地を探索するのは出張の醍醐味。愛知県にご出張の際は、仕事だけで帰るのはモッタナイ。観光もセットでお楽しみください。

中日新聞社 名古屋本社広告局広告一部・竹内慎太郎



徳川美術館



名古屋城